

環境報告

荒川化学グループは、その歴史を植物由来の天然樹脂ロジンとともに歩んできました。環境問題や環境対応への取り組みは、創業当時から現在も変わらない事業活動の一環と捉えています。

環境基本方針

荒川化学グループでは地球環境と調和する事業活動をおこなうため、「環境保安基本方針」を基に「環境保安行動指針」を定め、環境にやさしい、生物多様性の確保に寄与する事業活動を進めています。

環境保安基本方針

製品の開発から廃棄に至るまでの環境、安全、健康を確保し、地球環境と調和する事業活動を行う

【2005年4月1日 取締役社長 末村 長弘】

環境保安行動指針

1. 環境および保安に関する法令を遵守し、社員一人ひとりがその重要性を認識する。
2. 事業活動において、環境の保全、生物多様性の確保、および社員・地域住民の安全・健康に配慮し、安全操業に努める。
3. 事業活動に伴う環境への負荷の低減、省資源・省エネルギーを推進する。
4. 事業活動における環境・保安事故および労働災害の防止のため事故事例を解析し、情報を収集して適切な防止対策を実施する。
5. 製品の開発および新プロセスの開発は、環境・安全・健康の確保に配慮して行う。
6. 製品、原材料等取扱い物質の環境・安全・健康への影響に配慮し、安全性の調査・研究に努める。
7. 製品の安全な取扱いを図るために顧客へ必要な情報を提供する。
8. 製品や事業活動に関する行政当局や地域住民の関心に留意し、より一層の信頼が得られるようコミュニケーションに努める。
9. 海外への事業展開において、当該国の法令を遵守するとともに、環境保全、生物多様性の確保、安全・健康の確保に努める。

【2011年4月1日改訂 環境保安委員会】

環境に関する長期方針

2012年4月の環境保安委員会にて、2020年を達成目途とする環境に対する取り組みの具体的方針を策定しました。長期的視点に立ち、より積極的に環境改善に努めていきます。

- ①環境に配慮したものづくりと製品開発により社会に貢献していく。
- ②温暖化ガス排出削減を進め、地球温暖化防止に貢献していく。
- ③再資源化を促進して、ゼロエミッションを達成する。
- ④再生可能資源の利用、緑地の地域性確保などを促進し、生物多様性の確保に寄与する。